

令和元年度 事業報告

社会福祉法人豊中太陽会

設立認可：平成 13 年 7 月 16 日

(大阪府指令医福第 78-4)

所在地：豊中市穂積 1 丁目 9 番 6 号

代表者：理事長 浅尾 利機

法人概要

【法人の沿革】

平成 7 年 4 月	保護者有志の方々により大阪府豊中市島江町において 簡易通所授産施設「セント・ポプリ作業所」開設
平成 13 年 8 月	『社会福祉法人豊中太陽会』創設（H13.7.16 認可） 理事長 池村勝子 身体障害者通所授産施設「セント・ポプリ作業所」（名称変更） 施設長 浅尾利機
平成 14 年 7 月	知的障害者通所授産施設「かるがも広場作業所」を法人傘下へ 所在地 豊中市旭丘 施設長 島井京子
平成 17 年 8 月	「セント・ポプリ作業所」施設長 松 公造 「かるがも広場作業所」施設長 藤岡哲夫
平成 19 年 8 月	『社会福祉法人豊中太陽会』 理事長 浅尾利機
平成 21 年 4 月	障害者自立支援法に伴い 障害福祉サービス事業に移行 名称変更 「セント・ポプリ」「かるがも広場」 事業種別 生活介護・就労継続支援 B 型
平成 25 年 6 月	「セント・ポプリ」施設建設・移転・合併
平成 28 年 1 月	「ぼぷりのいえ」開設（共同生活援助）
平成 28 年 4 月	相談支援事業所 セント・ポプリ開設 ○一般相談支援事業 ○特定相談支援事業 ○障害児相談支援事業
平成 29 年 4 月	「サン・スマイル」開設（セント・ポプリ生活介護の従たる事業所）
平成 30 年 4 月	「サン・スマイル」（拠点として開設）施設長 橋本光子

【理念】

利用される方々の意思を尊重し、安心・安全で笑顔あふれる暮らしができ、充実した生活が送れるように支援します。また、全ての利用者・家族関係者、そして支援者が常に笑顔で過ごせる場所で、社会福祉の中心となるような施設をつくります。

【基本方針】

- ① 利用者ひとりひとりの気持ちを大切にします。
- ② さわやかなあいさつと、清潔な身だしなみを心がけます。
- ③ 専門職としての誇りを持ち、自己研鑽に努めます。
- ④ 地域社会との連携、地域社会への貢献を推進します。

【施設の概要】

セント・ポプリ 生活介護・就労継続支援 B 型 施設長 松 公造
所在地 : 〒561-0856 豊中市穂積1丁目9番6号
連絡先 : TEL06-6862-1001 FAX06-6862-0077
E-mail popuril3@taiyoukai.or.jp

ぽぷりのいえ 共同生活援助 管理者 松 公造
所在地 : 〒561-0874 豊中市長興寺南2丁目3番35号
連絡先 : TEL・FAX 06-7161-8062

相談支援事業所セント・ポプリ 管理者 常田真央
所在地 : 〒561-0856 豊中市穂積1丁目9番6号
連絡先 : TEL06-6862-1002 FAX06-6862-0077

サン・スマイル 生活介護 施設長 橋本光子
所在地 : 〒561-0894 豊中市勝部2丁目18番1号
連絡先 : TEL06-6841-4141 FAX06-6841-4143
E-mail smile30@taiyoukai.or.jp



法人報告

前年度の課題であった職員配置については、1年間を通じて求人活動を行うことにより、余裕のある職員配置まで充足してきた。セント・ポプリ拠点については8月より重度障害者支援加算も取得することができている。看護師については、応募が殆どない状態が続いているので、引き続き募集は行っていくが、近年中に常勤看護職員等配置加算の取得は難しいと思われる。来年度はサン・スマイル拠点も重度障害者支援加算を取得する計画で人員補充を行っていく。

経営面に関しては、経常増減差額率 18.6%、流動比率 363.7%、純資産比率 84.1% 固定長期適合率 80.9%、人件費率 63.1%と収益性や安定性の指標としては良好な数値を示している。また、各拠点ともに積立金を計上できており、特に問題のない経営状況であった。(別紙 社会福祉法人の経営指標を参照)

穂積二丁目の土地に関しては、国及び豊中市からの補助金は期待できないとの事であったので、株式会社山福に 400 m²譲渡し建設資金としての目処をたてた。令和2年度より福祉医療機構に借入する方向で、開発工事の申請より着手していく。

地域貢献事業としては、オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業である「大阪しあわせネットワーク」で大阪府社会福祉協議会との連携から地域における生活困窮世帯に対して1件の経済的援助を行うことができた。引き続き同事業や地域に対するボランティア活動を通じて地域貢献を行っていく。

1. 理事会・評議員会開催状況

日付	会議名	主な決議内容
令和元年6月4日	第1回理事会	事業報告・決算
令和元年6月22日	第1回定時評議員会	決算
令和元年6月22日	第2回理事会	理事長及び業務執行理事の選定
令和元年7月29日	第3回理事会	土地一部の譲渡契約
令和2年2月26日	第4回理事会	事業計画・予算
令和2年3月18日	第2回評議員会	事業計画・予算

2. 協議会開催状況

日付	会議名	主な決議内容
令和元年5月8日	第1回運営会議	理事会議案打合せ
令和2年1月31日	第2回運営会議	理事会議案打合せ
令和2年3月26日	第3回運営会議	職員相談

施設名	セント・ポプリ		相談支援事業所 セント・ポプリ	ぽぷりのいえ	サン・スマイル	
事業種別	生活介護	就労継続 支援B型	一般・特定 障害児	共同生活 援助	生活介護	
定員	30名	10名	—	4名	20名	
職員数 (内非常勤)	管理者	1	1	1	1	
	施設長	1	—	—	1	
	サビ管	1	—	1	1	
	生活支援員	25 (18)	1	—	10 (10)	11 (6)
	職業指導員	—	1	—	—	—
	相談支援員	—	—	2 (管理者兼務)	—	—
	世話人	—	—	—	16 (16)	—
	運転手	13 (生活支援員と兼務 11)		—	—	6 (3)
事務員	2 (1)		—	1 (1)	1 (1)	
嘱託医	医師	彭 英峰	—	—	彭 英峰	
	看護師	楠田 久恵	—	—	楠田 久恵	
	機能訓練 指導員	船越登紀夫	—	—	船越登紀夫	
敷地面積	479.50 m ²			100.55 m ²	—	
建物	構造	鉄骨造合金メッキ鋼板葺 ・陸屋根 3階建		木造スレート葺 2階建	木質パネル構 造 1階建	
	延床面積	681.41 m ²		111.31 m ²	189.635 m ²	

各施設報告

【セント・ポプリ】

1. 月別利用者数（延べ人数） 定員 28 名 障害支援区分 3～6 開所日数：274 日

生活介護	区分	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
	4 月	78	170	179	311	738
	5 月	83	166	171	299	719
	6 月	91	191	165	339	786
	7 月	99	189	166	318	772
	8 月	74	178	158	317	727
	9 月	82	181	153	336	752
	10 月	112	191	136	365	804
	11 月	113	187	119	362	781
	12 月	112	186	116	358	772
	1 月	105	171	99	340	715
	2 月	101	177	87	352	717
	3 月	93	196	69	382	740
	合計	1,143	2,183	1,618	4,079	9,023

就労継続支援 B 型	区分	非該当	区分 2	区分 3	区分 4	合計
	4 月	86	88	42	41	257
	5 月	79	83	44	38	244
	6 月	81	60	45	43	229
	7 月	86	67	41	45	239
	8 月	94	53	44	43	234
	9 月	102	54	45	41	242
	10 月	87	51	39	43	220
	11 月	83	49	38	42	212
	12 月	82	49	34	43	208
	1 月	60	42	31	41	174
	2 月	60	42	33	42	177
	3 月	82	46	30	44	202
	合計	982	684	466	508	2,638

2. 本年度重点的に取り組んだ目標・計画

計画	報告
<ul style="list-style-type: none"> ● 個別支援計画と強度行動障害支援計画の内容を全職員が共有し、計画・実行・評価・改善を行い、質の高い利用者支援に取り組む。 ● グループワーク（5名程度）の機会を設け、職員間で意見交換を行い、様々なアイデアを創出して、職員一丸となって業務と活動の質を向上する。 ● 業務分担と業務のマニュアル化を行い、職員一人一人が責任をもって業務に従事できるように取り組む。 ● 内外の研修に取り組む、人材育成と支援の質の向上に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援計画を利用者の連絡帳でも確認できるようにし、支援目標と支援内容を意識して支援に取り組めた。 ● 職員会議やフロア会議にグループワークを取り入れ、活発な意見交換ができ、業務改善に取り組めた。 ● 業務内容の口頭での引継ぎは行えたが、漏れもあるのでマニュアルの可視化を行っていく必要がある。 ● 研修計画不足の為、参加職員に偏りが出てしまった。

3. 目標・計画の具体的な項目と取組結果

項目	計画	報告
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 日々の支援に個別支援計画が活かされているかを意識し目標達成に向け取り組む。 ● 個別の取り組みを中心に利用者同士が繋がる活動にも取り組む。 ● バイタルチェックを行い健康管理に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 個別支援計画を意識する事で、プログラム内容を見直し取り組んだ。 ● プログラムを見直す事で、スケジュール管理が必要になるので調整が課題。 ● 日々のバイタル管理を行うことで、体調の変化に気づけ、適切な対応ができた。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 身体面の機能維持・向上に向け、リハビリや体を動かす活動に取り組む。 ● 生産活動の幅を広げ利用者の強みを生かせる取り組みを行う。 ● 異業種交流を図り、新たな活動の開拓に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 機能訓練の船越先生より教わったストレッチの仕方を、日々の活動で生かすことができた。 ● 毎月の目標や改善の取り組みへの意識が低かった為、生産活動は減収となった。 ● 口腔ケアすまいるさんより、歯ブラシ販売や畑に触れる機会を頂きました。

研修計画	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権研修、虐待防止研修（年2回）と各階層別の研修計画を立て、支援の質と向上を図る。 ● オンライン研修を毎週火・木曜日の17時～17時半で開催し、支援者としての共通認識を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権研修と虐待防止研修を11月に開催。 ● オンライン研修を活用し、研鑽に取り組みました。 ● 全国福祉施設長専門講座に参加し、施設運営と社福の意義を学ぶ事ができた。
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 日々、連絡帳でのやり取りや担当職員からの連携を図り、利用者支援につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 連絡帳で活動の様子や発作の詳細等を記載する事で、保護者も安心して事業所に通所させていると喜びの声を頂きました。
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ● 勤務体制を調整し、欠勤職員がいても対応できる勤務体制を組む。 ● 年5日以上年次有給休暇取得に向け計画的に勤務体制を整える。 ● 年1回の健康診断とインフルエンザ予防接種を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 急な欠勤者が出て安全に対応ができる勤務体制を組めた。 ● 対象職員が年5日以上年次有給休暇を取得する事ができた。 ● 年1回の健康診断とインフルエンザの予防接種を行った。 ● 12月より、男性職員が育児休暇を取得した。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域清掃を毎月第1・第3水曜日に行い、美化環境に取り組む。 ● 自治会の盆踊り（8月）、もちつき（12月）に参加する。 ● 地域のボランティア団体や文化活動団体との交流を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域清掃をすることで、地域の方とも繋がりができた。 ● 8月の盆踊りは廃止。12月のもちつきには参加し、地域の方と繋がりを深めることができた。 ● 庄内西小学校、二葉公園の夏祭りで焼きそば出店をし、地域の団体との交流ができた。 ● CSW「生活困窮者レスキュー事業」1件対応。 ● 大阪府災害派遣福祉チーム（大阪DWAT）チーム員5名登録。

4. その他特記事項

- 非常災害時に備え、避難訓練を9月、11月に実施した。備蓄水120ℓを用意した。
- 災害時等の一斉配信サービス「さくら連絡網」を導入。
- 9月に業者によるエアコンの清掃。
- 9月に多機能加湿装置(空気清浄機)を4台設置。
- 12月に施設内にカメラを10台設置。

【相談支援事業所セント・ポプリ】

1. 計画相談(障害者・児)・一般相談 月別実施状況

令和元年度 月別利用者状況	月	モニタリング件数	計画作成件数	基本相談件数	合計
	4月	17件	2件	32件	51件
	5月	16件	6件	63件	85件
	6月	22件	5件	44件	71件
	7月	16件	8件	43件	67件
	8月	21件	3件	38件	62件
	9月	15件	5件	31件	51件
	10月	14件	6件	49件	69件
	11月	15件	8件	36件	59件
	12月	19件	2件	26件	47件
	1月	11件	4件	17件	32件
	2月	22件	3件	7件	32件
	3月	28件	11件	10件	49件
	合計	216件	63件	396件	675件

2. 本年度重点的に取り組んだ目標・計画

計画	報告
<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業を通し、各関係機関と密に連携をとりながら、利用者ひとりひとりのニーズに応じたきめ細やかな計画相談支援を提供していく。 豊中太陽会の施設を利用していない方に対しても、利用されている事業所や関係機関と連携と取りながら、本人及び家族が安心して暮らしていけるように、上記同様の計画相談支援を提供していく。 相談支援事業所として当相談支援事業所と契約を交わしていない利用者に対しても、引き続き個別相談や、関係機関との連絡調整、各種手続きなどのサポートを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者、保護者の希望を聞き、意思を丁寧に確認した上で、計画の作成をし、適切な福祉サービスの提案、提供、各関係機関への引継ぎを行った。またそれに付随し、モニタリングを行い、状況に応じて計画の変更、課題の解決に取り組んだ。 外部の利用者に対しても1と同じサービスを提供した。 上記と同様に、サービスの質を変えることなく支援を提供した。具体的には、 <ol style="list-style-type: none"> 就労継続支援B型の利用施設の紹介と利用に至るまでのフォローと手続き。 ヘルパー事業所の紹介、取り次ぎ。 福祉事務所との連携による課題解決。 セルフプラン作成の手伝い。 就労継続支援A型施設の紹介と、利用までの手続きなど。

3. 目標・計画の具体的な項目と取組結果

項目	計画	報告
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者（児）の抱える、短期、中期、長期のそれぞれの課題解決に向けての相談や、関係機関との連携、連絡調整などを行い、障害者（児）の自立した生活を支えるための支援を提供していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ● モニタリングやアセスメントを通じて顕在した課題に対しての相談援助、課題解決に向けての関係機関との連携や連絡調整を行った。（主に日中活動施設、医療機関、ヘルパー事業所、市など）
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活全般の相談 ● 相談支援専門員によるアセスメント ● サービス等利用計画の作成 ● モニタリングの実施 ● 利用者、その他からの相談や苦情に関する対応 	<ul style="list-style-type: none"> ● アセスメントとモニタリングを通じたサービス利用計画の作成。突発的な出来事や相談からなる課題解決のための相談援助と、それによる変更の生じた利用計画の作成。 ● 利用者、保護者からの関係機関への苦情相談及び、問題解決の考案、提示、実施など。
研修計画	<ul style="list-style-type: none"> ● 虐待防止、権利擁護、意思決定支援、各障害の特性と理解 ● 福祉制度の理解、社会資源の情報と活用方法、関係機関との連携強化方法等、相談援助に関わる情報の研修 	<p>【受講研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 利用者意向の把握 ● 医療的ケア児等支援者要請研修 ● 児童虐待、障害者虐待の基礎知識 ● 本人家族の思いの理解、意思決定支援、ニーズアセスメントの把握事例 ● 地域公益活動の取り組み責務化、他。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会福祉法人として求められる地域貢献において、相談支援事業所として法人内の各事業所と協力し、地域の中で生活する障害児・者に対して、個別相談や社会資源の紹介、連絡調整、各種手続きのサポートなどを行う地域の窓口として責務を果たしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害福祉課より支援依頼のあった方のところに相談援助に入り課題解決に向け、取り組んだ。（現在継続中） ● 突発的に事業所へ直接相談に来られた方の相談援助を行った。（アセスメントをし、その人に合った日中活動の施設を探し、通所利用を開始する一連の流れまで）

4. 相談支援・障害別利用者契約状況の報告

1) 障害別利用契約者数の前年対比

平成30年度 利用契約者数				令和元(H31)年度 利用契約者数			
身体障害者	2名	難病対象者	0名	身体障害者	2名	難病対象者	0名
知的障がい者	38名	(男性利用者)	24名	知的障がい者	42名	(男性利用者)	28名
障害児	1名	(女性利用者)	19名	障害児	1名	(女性利用者)	19名
精神障害者	2名	合計利用者数	43名	精神障害者	2名	合計利用者数	47名

令和元年(H31)年度の相談支援実施計画を振り返り、特定相談(計画相談)の全体利用者数は H30 年度 43 名から令和元年(H31)度 47 名と、昨年度と同じ 4 名の増加となった。

2) 令和元年度(H31 年度)1 年間の契約者増加の詳細報告

- ①新規契約者数 8 名
- ②解約者数 4 名

<新規契約者について>

- セント・ポプリ利用者(保護者)からの依頼 1 名
- 障害福祉課よりの懇願 1 名
- 他相談支援事業所利用者からの直接の乗り換え依頼 2 名
(利用者本人から 1 名、保護者から 1 名)
- 他相談支援事業所閉鎖のための受け入れ 2 名
- セント・ポプリ(生活介護)新規入所者保護者からの依頼 2 名

<解約者について>

- 保護者からの希望により、別の相談支援事業所への変更 1 名
- 生活介護事業所の利用先変更による解約 2 名
(次に行く事業所が運営している相談支援事業所への移行)
- 遠方に引っ越したため解約 1 名

5. 総括と今後について

昨年末より相談支援員(兼務者)が退職したため、本年 1 月より 1 名体制となった。現在、変わりとなる相談支援員候補の育成中となる。また、支援員 3 名体制時(専任 1、兼務 2)の最大利用契約者数 43 名に対し、現在は専任 1 名で利用契約者数 47 名となっているため、今後の新規契約者に関しては、積極的な利用数増加は行えない(既存の利用者へのサービス提供の質を鑑みて)状況となる。ただ、積極的な契約は行わないが、未契約による一般相談という形での、障害者の相談援助や支援は今後も変わらず継続して行っていく。

【ぼぶりのいえ】

1. 月別利用者数（延べ人数） 定員 4 名 障害支援区分 4～6

共同生活援助	区分	4	5	6	合計
	4月	48	27	24	99
	5月	44	25	22	91
	6月	50	25	20	95
	7月	52	26	24	102
	8月	44	23	22	89
	9月	43	23	22	88
	10月	50	25	23	98
	11月	52	26	26	104
	12月	46	23	21	90
	1月	42	21	22	85
	2月	44	24	24	92
	3月	48	25	23	96
	合計	563	293	273	1,129

2. 本年度重点的に取り組んだ目標・計画

計 画	報 告
<ul style="list-style-type: none"> ● 個別支援計画の内容を全職員が共有し、計画・実行・評価・改善を行い質の高い利用者支援に取り組む。 ● 業務のマニュアル化を行い、職員一人一人が責任をもって業務に従事できるように取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎月の GH 会議で、GH リーダーを中心に意見交換を行い、日々の申し送りノートを活用して、支援方法と業務内容を共有し、どの職員が勤務しても状況がわかるよう環境を整備した。

3. 目標・計画の具体的な項目と取組結果

項 目	計 画	報 告
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活リズムを大切にし、健康に過ごせるよう、食事・入浴・排泄等の介助と夜間支援を行う。 ● 日々の支援に個別支援計画が活かされているかを意識し、各利用者の目標達成に向け取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 就寝時間が遅い利用者に説明と意思確認を行い、就寝時間が早まり生活習慣の改善ができた。 ● ヨシケイキッチンの配食サービスを利用することで、栄養管理に取り組めた。

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 家事の手伝い、食器の片付け、掃除等できる事は意思確認を行い取り組んでいく。 ● 楽しみとして外食や季節の行事を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 声かけは必要だが、それぞれの担当を決め、取り組めた。 ● 利用者の意向を取り入れ、楽しみにしている外食をした。(月1回)
研修計画	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権研修、虐待防止研修(年2回) ● グループホームに特化した研修を全職員が受講する(年2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権研修を、虐待防止研修を共に11月に行いました。 ● GH世話人研修に年1回参加。 ● 研修に関しては、計画を実行できていないので担当を決めて取り組むなど改善が必要。
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ● 勤務体制を調整し、夜勤等で欠勤職員が出て対応できる勤務体制を組む。 ● 年2回の健康診断を行う。(夜間勤務者) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜間勤務職員の体調不良時等の代替職員を事前に配置したため、安心して勤務ができた。 ● 夜間勤務者確保が厳しく、負担の偏りがあった。 ● 年2回の健康診断を行った。(夜間勤務者)
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 近隣への挨拶運動を行う。 ● 自治会と連携を図り、地域との繋がりを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 近隣への挨拶運動を行い隣接の方とも良好な関係を築けた。 ● GH周辺は自治会が機能していない為、近隣との関係作りが課題である。

4. その他特記事項

- 非常災害時に備え、避難訓練を9月、11月に実施した。備蓄水12ℓを用意した。
- 必要な物は会議等で確認し、購入した。
- 8月に外構工事を行い、駐車・駐輪スペースが広くなり、使いやすくなった。
- 12月に施設内にカメラを9台設置。

【サン・スマイル】

1. 月別利用者数(延べ人数) 定員 20 名 障害支援区分 4~6 開所日数 274 日

生 活 介 護	区分	4	5	6	合計
	4 月	44	153	181	378
	5 月	43	136	182	361
	6 月	44	152	192	388
	7 月	22	177	179	378
	8 月	19	140	185	344
	9 月	21	149	182	352
	10 月	22	154	186	362
	11 月	22	174	163	359
	12 月	21	171	159	351
	1 月	21	160	143	324
	2 月	22	184	164	370
	3 月	21	186	164	371
	合計	322	1,936	2,080	4,338

2. 本年度重点的に取り組んだ目標・計画

計 画	報 告
<ul style="list-style-type: none"> 主任、副主任の役職を設ける事で、より円滑な職員間の連携に努める。 今年度は、あらたな利用者の受け入れをせず、職員の質の向上、職場の構造化に取り組み、円滑な支援体制の確立を図る。 強度行動障がい等の支援として利用者一人ひとりの支援手順書を作成し、職員間で統一した支援を目指す。また、必要に応じ支援方法を見直し、職員間で周知できる環境作りに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 主任、フロアリーダーからの報告、連絡、相談内容に、迅速かつ的確な対応ができていなかった。 支援手順書は未完成。 重度障がい者支援加算を申請できる人員の確保ができなかった為、加算申請はできなかったが、支援手順書等の環境作りはほぼできている。

3. 目標・計画の具体的な項目と取組結果

項 目	計 画	報 告
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> 個々のニーズに応える支援を行う。 生活介護らしい身近ケアを中心とした支援、または外への活動を中心とした支援に分かれて活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画に基づき、身近ケアは、主に入浴を中心に取り組めた。外への活動は、外食や外出、ドライブ、散歩に出かけた。

<p>支援者の 質の向上 メンタル ケア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● オンライン職員研修を使用した職員研修を月 2 回以上行う。 ● 人権・権利擁護の研修を年間 3 回以上実施する。 ● 管理職による職員への面談、聞き取りを定期的(偶数月)に行い、問題の認識、解決を早期に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● オンライン研修は毎週月曜日に実施。欠席した職員は、個別に受講する事ができた。 ● 権利擁護研修は1名の職員が1日受講した目標回数には至らなかった。 ● 職員との面談は、6月と8月に実施した。
<p>保護者との 連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 担当職員が利用者、保護者よりニーズの聞き取りや支援の経過相談をする事で、信頼関係の構築・連携の強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者への担当意識が徐々に高まり、保護者への聞き取り等がスムーズになった。さらに信頼関係を構築していく。
<p>職員処遇</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 年 5 日の年次有給休暇を確実に取得し、残りの日数も取得できる職場環境作りに努める。 ● 45 分休憩を確実に取れるように指導、職場の構造化を実施する。 ● 人事考課を取り入れ、職員のモチベーションを上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象職員全員が 5 日以上有給休暇を取得する事が出来た。 ● 2019 年 4 月より 45 分休憩を実施し、定着できている。 ● 人事考課は 2020 年 4 月より実施する。
<p>地域貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域清掃を年間 8 回以上行い、地域住民の方々と明るい挨拶でコミュニケーションを図る。 ● 原田小学校校区のイベント『ふれあい広場』や『地域運動会』に参加させていただき、お手伝いできる範囲を今後も広げる。 ● 豊中市内の小学校での『夏祭り』に出展。お祭り自体の設営や片付けをする。 ● 自治会の『お餅つき』のお手伝いをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域清掃、近くの公園の落ち葉広い、施設前歩道の清掃ができた。 ● 原田小学校校区のイベントは職員の調整が出来ず不参加となった。 ● 夏祭りでは、スマートボールゲーム、野菜販売、等で出店し地域の方々による喜んで頂き、利用者様の工賃にも貢献できた。 ● 自治会のお餅つきは、お餅、雑煮をいただくだけになった。今後は準備や片付け等も積極的に行う。

4. その他特記事項

- 非常災害時に備え、避難訓練を 6 月、12 月に実施した。備蓄水 720 を用意した。
- 災害時等の一斉配信サービス「さくら連絡網」を導入。
- 9 月に多機能加湿装置(空気清浄機)を 2 台設置。
- 12 月に施設内にカメラを 4 台設置。